

『鏡野町の文化財』刊行

このたび、「山田養蜂場創業六〇周年事業」基金事業の一環で、鏡野町内の文化財を紹介した冊子『鏡野町の文化財』を刊行しました。

合併前の4町村で指定されていた町・村指定文化財は、合併後も引き続き指定文化財として扱われ、現在は150件もの町指定文化財があります。また、この他にも国指定2件、県指定11件、国登録文化財35件の文化財が存在します。

『鏡野町の文化財』では、これら町内にある指定・登録文化財をすべて掲載し、鏡野町文化財保護審議会委員の皆さんの執筆により概要を紹介しています。

皆さんがまだ見たことがない文化財があるかもしれません。また、普段よく目にしているものも、どのような価値があるのかということがわかりやすく解説してあります。

A4判124ページ

で、写真はすべてカラーで掲載しています。

2,000部刊行し、

町内の公民館・学校・図書館、

県内の図書館や公共機関へ配布し、

残りはご希望の方に1部

500円でペスタロッ

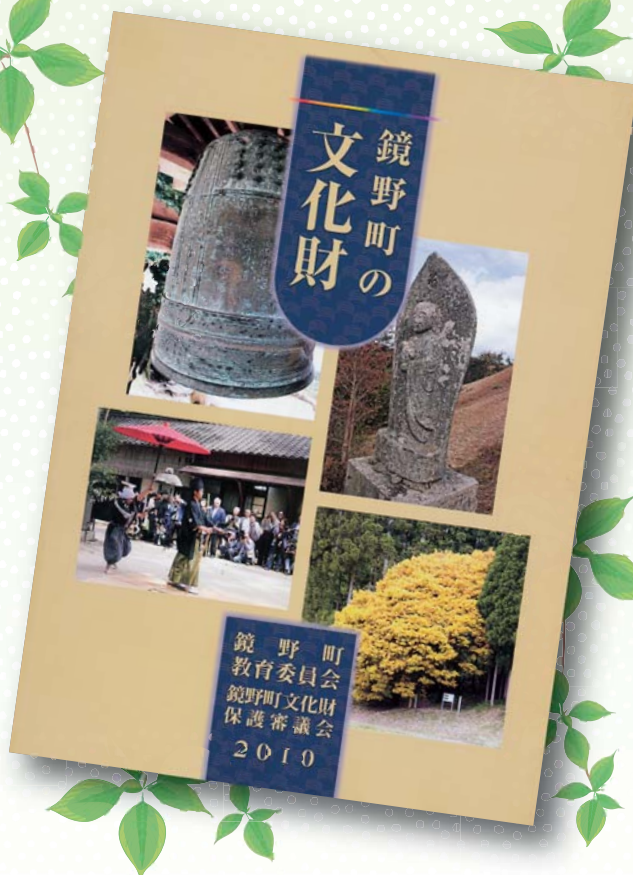
チ館窓口、奥津歴史資料館、

上齋原公民館、泉公民館、

富公民館の各所で販売しています。

この機会に是非町内にある文化財を知っていただければ幸いです。

だければ幸いです。



【問】鏡野町生涯学習課（ペスタロッチ館内）担当…日下

☎0868・54・7733

恩原遺跡群が

県重要文化財に指定

3月12日、上齋原恩原湖周辺に所在する旧石器時代の遺跡「恩原遺跡群」の一部（上齋原2154番2・2154番8、面積158、424㎡）が岡山県重要文化財（史跡）に指定されました。

恩原遺跡群は昭和59（平成9年）にかけて、岡山大学考古学研究室を中心とする恩原遺跡発掘調査団により恩原1・2遺跡が発掘調査され、約3万年前からの5つの時期にわたる旧石器時代・縄文時代の生活の跡が確認されました。中でも石器製作や、火が使用された場所の発見は、西日本の旧石器時代研究を前進させ、学術上の価値が非常に高く、このことが今回の県指定へとつながりました。

